

第6回二宮町総合計画審議会及び二宮町総合戦略検討委員会 会議要旨

日 時 2016年2月24日(水) 午前10時00分～午前11時05分

場 所 二宮町町民センター 2Aクラブ室

出席者 委員14名

後藤伸会長、廣上正一副会長、前田憲一郎委員、柳川駅司委員、蓮實茂夫委員、柏木稔委員、佐藤清委員、田邊邦良委員、岡本康則委員、筧建夫委員、秋山和紀委員、豊田博美委員、駒澤慎一郎委員、稲葉しずか委員、井上岳一委員、菅澤富枝委員

町長

町職員 政策部長

事務局 企画政策課3名

傍聴者 1名

配布資料

資料1 『第5次二宮町総合計画中期基本計画について』

資料2 『二宮町総合戦略について』

参考資料1 『第5次二宮町総合計画中期基本計画(素案)、二宮町人口ビジョン(素案)及び二宮町総合戦略(素案)に対する意見と町の考え方』

会議概要

1. 開 会

2. 会長あいさつ

会長 : 全会を通して、委員の熱心な議論に感謝する。計画はまとまったがこれが終わりではなくスタートだと考えている。私たちには総合戦略や基本計画の内容が今後どのように実施されるのか見届ける役割がある。みなさんも今後の町の動向を見届けてほしい。

3. 答申

4. 町長あいさつ

町長 : 本日までご多忙の中審議いただきありがとうございます。答申を庁内にフィードバックし、議論を深めていきます。今日が計画のスタートとして、二宮町で守るべき強みは守り、攻める部分は攻めるなどメリハリをつけ計画を実行していきます。

5. 意見交換

会長 : 今日答申と報告書の提出を行ったが、最後に、言い足りないことや答申や報告書に記載しきれなかったことを1人ずつ発言してほしい。

委員 : 総合戦略のプロジェクトは具体的なものから抽象的なものまでであるが、一番重要なのは実行することだ。実行途中で課題が出て中断するものも出てくるかもしれないが、必ず全てのプロジェクトに触ってほしい。今後はその点を注視して見ていきたい。

委員 : 総合戦略は机上の空論に終わらないようにしてほしい。町長から実行するとの発言もあったので安心した。議論の中で教育や健康づくりについて意見を述べたが、それらが基本計画に基づいて進められることを期待している。

委員 : 今回の答申は、花で終わらせることなく実にしてほしい。二宮町は住宅が増えているというが人口は減少している。総合戦略を実行することで二宮町がより良いまちになると良いと思う。

委員 : 人口減少、消滅可能性都市などの問題に対する認識が議論を通じて具体的になった。町の取り組み内容も具体的意識づけされた。本会の委員は、今後も何かの形で戦略の実現に関わると良い。町民にも計画の内容を理解してもらうため、総合戦略5ページの相関図などを活用し周知してほしい。最後に、基本目標3, 4の数値目標やKPIの目標値に国勢調査が使われているものがあるが、指標がH32となっており、計画期間とずれることが気になった。

委員 : 町の自然や農地を守るために人が住んでいない場所にもお金をかけてほしい。昔使われていたヒノキの防風林が成長して周辺の農地に影を落とし、作物の生育に影響を及ぼしている。また、農地につながる道路が未整備で車も入れず農業に支障が出ている。

委員 : 今回は3本の計画を同時策定したが、事務局の尽力に敬意を表したい。総合戦略に未病対策やプロモーション等が位置付けられ、県の計画とも整合が図られた。今後も県の取り組みと連携を図ってもらうだけでなく、今後創設する予定の補助制度を活用してほしい。

委員 : 菜の花まつりはもっと戦略を練らないと廃れてしまうのではないかと心配している。二宮小の校庭を有料駐車場として活用し、得た収益を小学校に還元するなど町有財産の活用を考えてほしい。また、吾妻山に展望台を整備したり、出店する店舗を規制するなどの対策も必要ではないか。二宮町は環境がよく良いまちだ。みんなが自信をもってまちづくりをすることが重要だと思う。

委員 : 高齢化対策が課題になっているが、それに対する町民の意識はネガティブになりがちで活動も縮小傾向にある。町民のやる気とモチベーションをいかに上げるかが課題で幅広い人々の協力を促す工夫が必要だ。大磯町では人口減少が止まったという。隣り合う町で歴史背景が違うが二宮もそうなっていけると良い。

委員 : 二宮団地では入居者の2倍の人が転出している。二宮団地は開発当時と状況が変わり、コミュニティの維持のために発想の転換が求められている。入居者を増やすために入居者の実態調査を行っている。今の入居者の2割は若い人で、平塚や小田原などの近辺からくる人が多い。若い人を呼び込むためにリノベーションなどを支援し、二宮らしい暮らし方が実現できる取り組みも検討している。二宮町は環境が良い。県公社と

しても団地再生に力を入れていきたい。

委員 : 子育てというキーワードから見れば、総合戦略の内容はリンクする部分が多い。今後の具体的な進捗について期待している。今後は金融機関として、中小企業の支援や起業支援に対して継続的な取り組みを進めることでまちづくりに協力していきたい。

委員 : 総合戦略の具体的な事業が実際に動き出したら面白そうだ。取り組みを始める際にはぜひ情報を提供してほしい。まちづくりに興味を持ってくれる人が少しでも増えるよう、取材を通して協力していきたい。

委員 : 計画策定はスタートだ。実際に計画を進めていくと問題が起きる。PDCA サイクルを通じて、常にあきらめず実行する気概をもってほしい。二宮は人が優しくて自然が豊かだ。自信をもってまちづくりを進められると良いと思う。

委員 : 計画を立てることが大事ではなく、その中身を埋めていくことが大事だ。子育ては周囲のサポートがあってこそ成り立つものである。これからも具体的な取り組みを進めてほしい。

委員 : 計画自体は具体的ではないが、今後の実施段階でどう住民を巻き込むかが重要だ。消滅自治体等とは役場機能がなくなることを意味している。町が住民と一体となって具体的な取り組みをすれば国も応援してくれる。交付金が出る間だけでなくその後も継続し、独自の取り組みを続けることが大事だ。今後、後期高齢者が増えて丘陵部を中心に移動などの問題が出てくるだろう。問題が顕在化する前にどれだけ手を打てるかで町の将来が変わる。今回の計画をきっかけに、住民と意識を共有して、住民のやる気に火をつけるのが町の役割だと思う。

委員 : 具体的にプロジェクトを進めるにあたり、議論で出た意見も活かしてほしい。また、まちづくりの基本となる町民参加の機会を設けてほしい。会議で意見を聴くだけでなく、地域に出て広く意見を聴く活動を積み上げてほしい。その点を強くお願いしたい。

町長 : 委員からは、まず机上の空論にしてはならないというご意見ありました。ご意見を受けて今後、一つひとつ着実に進めていきたいと思います。また、二宮町の良さを町民が実感し共有化しながら、自信をもって進めてほしいという言葉もありました。二宮町の良さをより多くの人に伝え、定住促進に結び付けたいと思います。さらに、各分野についても課題をいただきました。限られた財源の中ですが、工夫しながら進めていきたいと思います。町民の意見交換を持ってほしいという意見については、「まちづくり町長室」を活用し、やり方も改善していきます。まちづくりを進める中では、町民主体の活動も必要になってきます。そこにどう行政がバックアップしていくかが課題です。今後は、職員も勉強して、力をつけていくことが重要だと思っています。

会長 : 審議会全体を通して熱い、やる気のある意見が多く出された。行政は審議会の思いを汲み取って、今後に活かしてもらいたい。私の大学では、二宮町と包括協定をする予定がある。今後は、大学や学生との関わりの中で町に協力できることに取り組んでいきたい。